

生涯教育研修活動報告書

細胞検査研究班

- 1 実施日時：2023年9月14日 18時00分～19時30分
- 2 会場：Web開催 教科・点数：専門教科－20点
- 3 主題：2023年 認定試験直前!!細胞診セルフチェック 第2弾
- 4 講師：鈴木 隆（独立行政法人地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター）
：勝平 理子（獨協医科大学埼玉医療センター）
：大谷 奈穂（埼玉県済生会川口総合病院）
- 5 協賛：なし
- 6 参加人数：会員 195名 賛助会員 0名 非会員 0名
- 7 出席した研究班班員：鶴岡慎悟 船津靖亮 急式政志 加藤智美 野本伊織 稲山拓司
並木幸子 小川弘美 猪山和美

8 研修内容の概要・感想など

本研修会は、細胞検査士認定試験の合格を目指す受験者や、細胞検査士が細胞像の復習を行うことを目的として、例年シリーズ化して開催している。今回の研修会は第2弾として呼吸器領域、消化器・唾液腺領域、泌尿器・体腔液領域から写真問題の提示と解答の解説を実施した。

講演1では、鈴木氏より呼吸器領域から計10問の細胞像の提示と解答の解説が行われた。呼吸器領域は喀痰や気管支洗浄液、腫瘍捺印など多様な採取法での細胞像が提示され、アスベストやクリプトコッカスなどの感染症から腺癌、扁平上皮癌など出題頻度の高い悪性細胞まで網羅された内容であった。解説では各組織型における着目点や鑑別点を押さえた内容であった。

講演2では、勝平氏より消化器領域から7問、唾液腺領域から3問、計10問の細胞像の提示と解答の解説が行われた。解説ではそれぞれの分野において、組織型を推定するために必要な細胞像の解説を主軸とし、腺房細胞と腺房細胞癌など良悪性の鑑別に必要な点もふまえた解説であった。

講演3では、大谷氏より泌尿器・体腔液領域から各5問ずつ、計10問の細胞像の提示と解答の解説が行われた。泌尿器領域では高異型度尿路上皮癌の細胞のとらえ方や悪性細胞と間

違いやすい良性細胞との鑑別点について解説が行われた。体腔液領域では異型細胞が出現した場合の診断アプローチの方法をはじめとして、中皮細胞や悪性中皮腫、腺癌との鑑別方法の解説を行った。

本研修会は細胞検査士認定試験と同様の形式をとっており、受験者にとっては限られた時間のなかで解答することで本番と同様の予行練習もできる内容であったと思われる。また日常業務では判定することの少ない症例もあり、経験者にとっても良い復習の機会となる勉強会であった。

提出日：2023年9月31日

文責：並木幸子